

とき：平成25年 **6月25日(火)**

18:45～20:45

ところ：日光郷土センター1階ロビー(日光市御幸町)

入場無料 どなたでもご参加いただけます。

# 祭

(いのり)のまち

# 日光

のコスモロジー

講師・山本忠史氏

私たち日光門前地区の

「まちづくり」のテーマである

「祭(いのり)のまち」

信仰や「願い」が集まる

神聖な場所であること。

そんな特殊性を示している。

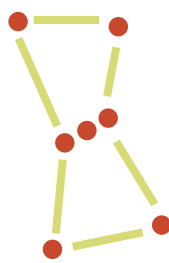
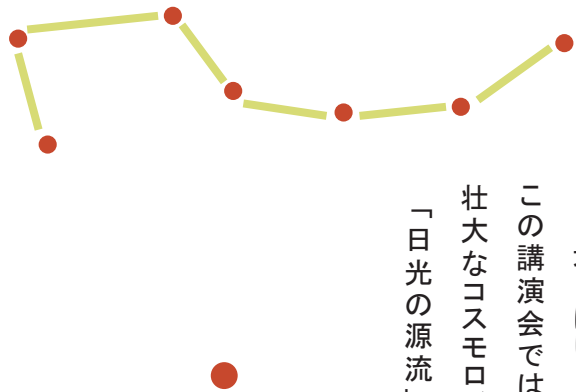
しかし、なぜ日光なのか。

日光とはいったい何なのか。

この講演会では、

壮大なコスモロジーに秘めた

「日光の源流」を探る。



**日**光は、風水思想を超えた神秘の逸話がある。

日光東照宮の配置は、滝尾神社、外山、釈迦堂、本宮等で「オリオン座」を形成し、これらと関連して、女峰山、赤薙山、丸山等で「北斗七星」を形成する。また、男体山は「北極星」に見立てることができ、さらに、中禅寺湖に点在する、二荒山中宮祠、華厳の滝、立木観音、旧五大尊岩が「はくちょう座」を形成するという。家康の霊廟を日光に移した天海大僧正は、この日光の山々の壮大なコスモロジーを意識していたと言われる。(「日光東町まちづくり規範」より)